

子育て支援に関するニーズ調査結果（概要）

◆調査期間：令和6年3月1日～3月15日

◆配布：郵送法 回収：郵送またはWEB

対象	配布数	回収数	回収率
就学前児童の世帯	1,000 票	409 票	40.9%
小学生児童の世帯	500 票	214 票	42.8%

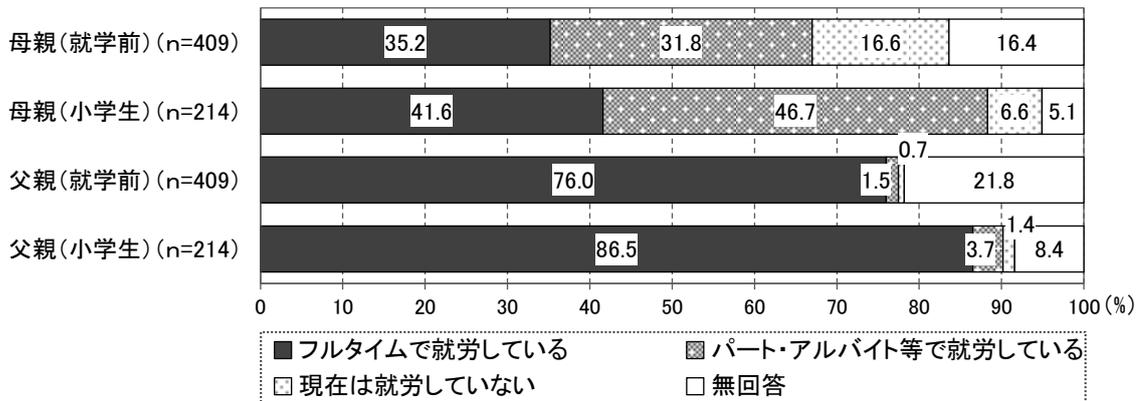
（参考）回収数の内訳

就学前：郵送 179 票、WEB 230 票 小学生：郵送 104 票、WEB 110 票

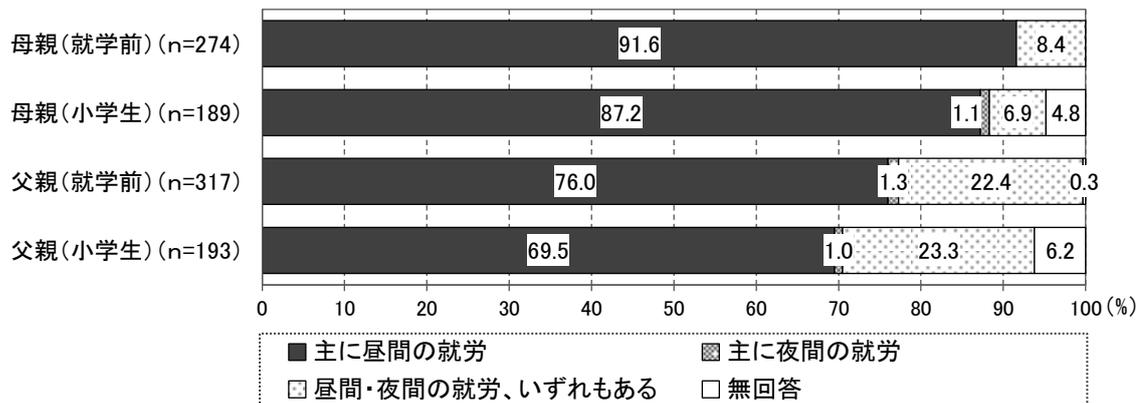
1. 主な調査結果

(1) 保護者の就労状況

「フルタイムで就労」と「パート・アルバイト等で就労」を合わせた“就労している”を見ると、就学前児童の母親は 67.0%、小学生児童の母親は 88.3%となっています。



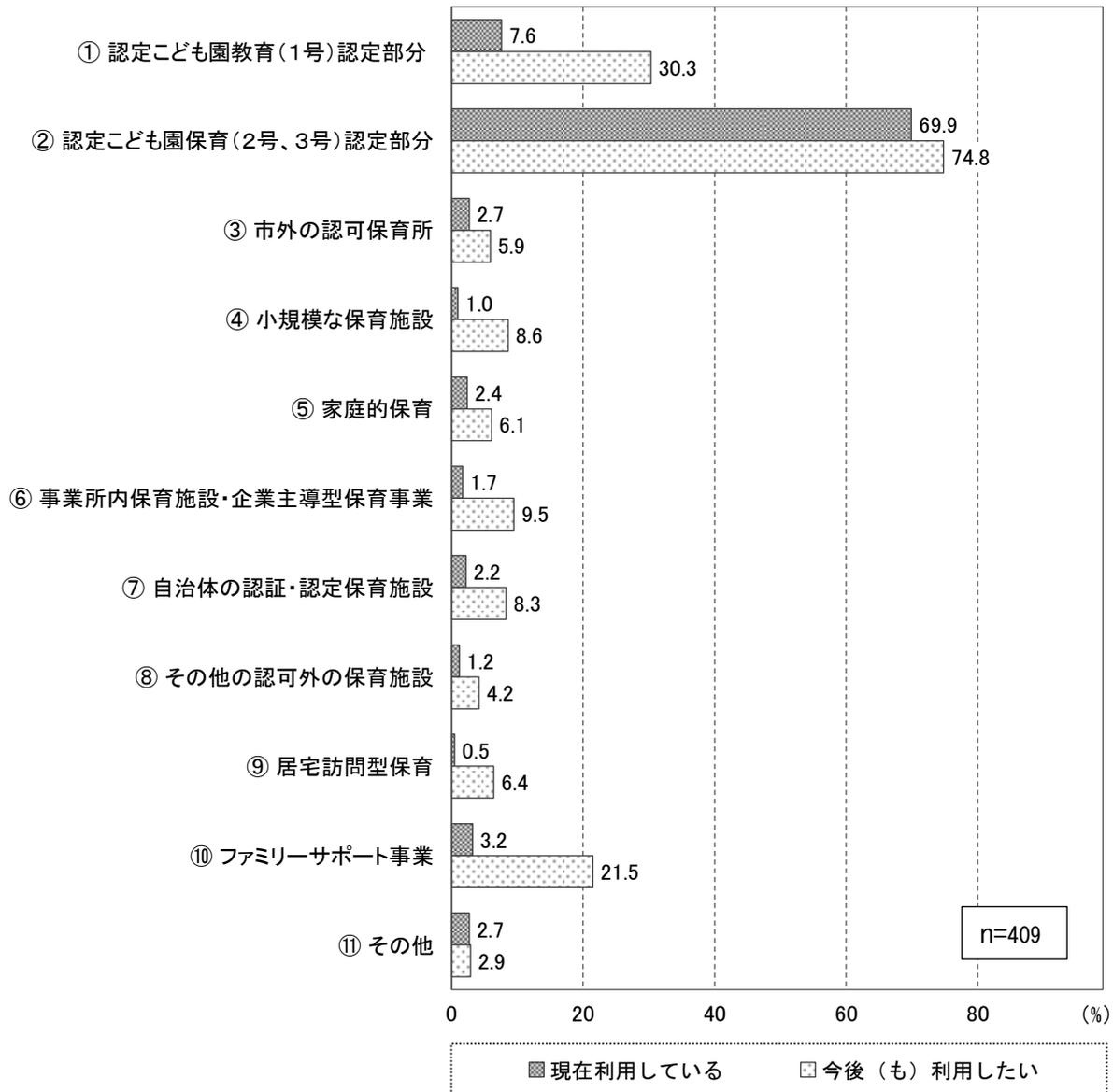
“就労している”保護者の就労時間帯を見ると、母親では9割程度が「主に昼間の就労」となっていますが、父親では2割強が「昼間・夜間の就労、いずれもある」となっています。



(2) 「定期的な」教育・保育の利用

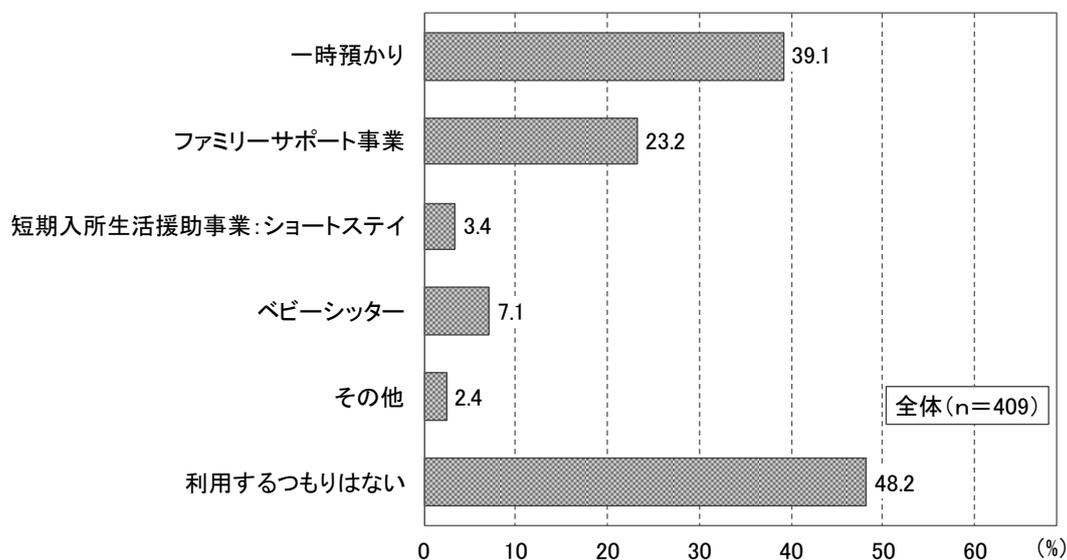
就学前児童の世帯に「定期的な」教育・保育の利用状況を質問したところ、現在の利用では「認定こども園保育（2号、3号）認定部分」が69.9%と最も高くなっています。

一方、今後（も）利用したいでは、それぞれの項目で現在の利用と比べて全体的に割合が高くなっていますが、「認定こども園教育（1号）認定部分」と「ファミリーサポート事業」の割合が大幅に高くなっています。



(3) 「不定期な」教育・保育の利用

就学前児童の世帯に「不定期な」教育・保育の利用意向を質問したところ、今後も「利用するつもりはない」が48.2%と割合が高くなっていますが、今後利用したい事業で見ると、「一時預かり」が39.1%と最も高く、次いで、「ファミリーサポート事業」が高くなっています。



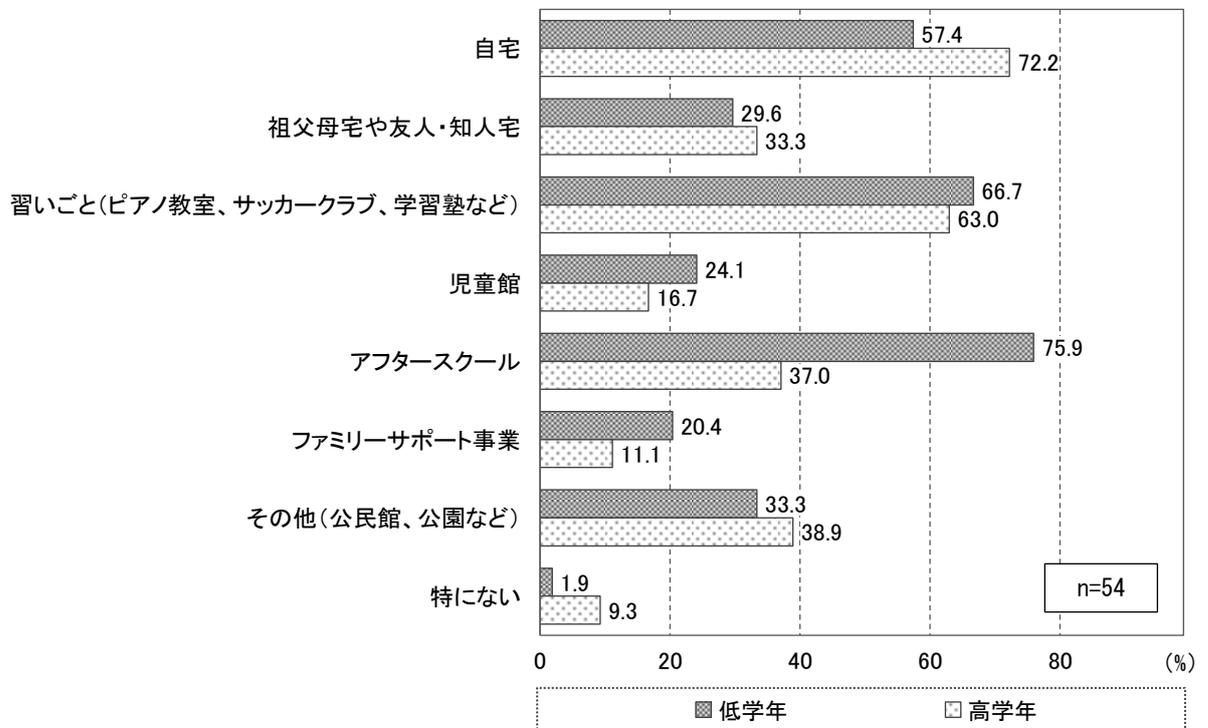
(4) 地域の子育て支援事業の利用

就学前児童の世帯に地域の子育て支援事業の利用状況を質問したところ、「子育て学習センター（地域子育て支援拠点事業）を利用」では0～3歳の割合が高く、「児童館、認定こども園のまちの子育てひろば（市で実施している類似の事業）を利用」では0～1歳の割合が高くなっています。

		(n=)	子育て学習センターを利用	児童館、認定こども園のまちの子育てひろばを利用	いずれも利用していない
年齢	0歳児	104	46 44.2%	21 20.2%	52 50.0%
	1歳児	59	19 32.2%	12 20.3%	37 62.7%
	2歳児	63	18 28.6%	4 6.3%	43 68.3%
	3歳児	49	20 40.8%	5 10.2%	27 55.1%
	4歳児	67	9 13.4%	6 9.0%	55 82.1%
	5歳児	54	12 22.2%	3 5.6%	39 72.2%

(5) 放課後の過ごし方

就学前児童の世帯のうち5歳児を対象に、小学校就学後の放課後の過ごし方を質問したところ、低学年では「アフタースクール」、高学年では「自宅」が最も高くなっています。

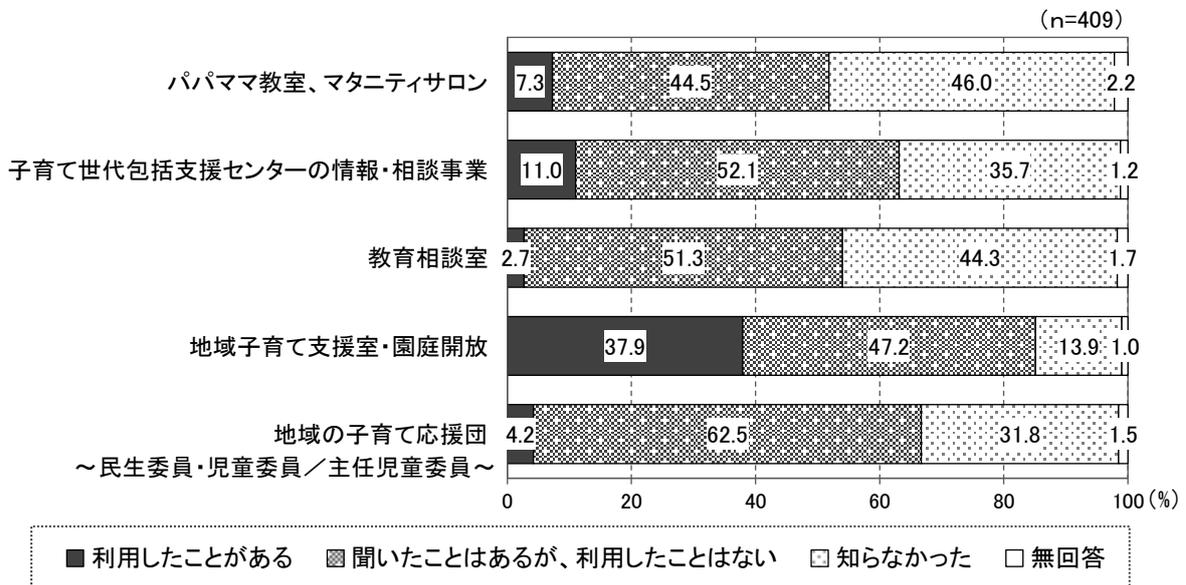


小学生児童の世帯に現在の放課後の過ごし方を質問したところ、小学1年生では「アフタースクール」が62.5%と最も高くなっていますが、学年が上がるにつれて「アフタースクール」で過ごす割合は低くなっています。

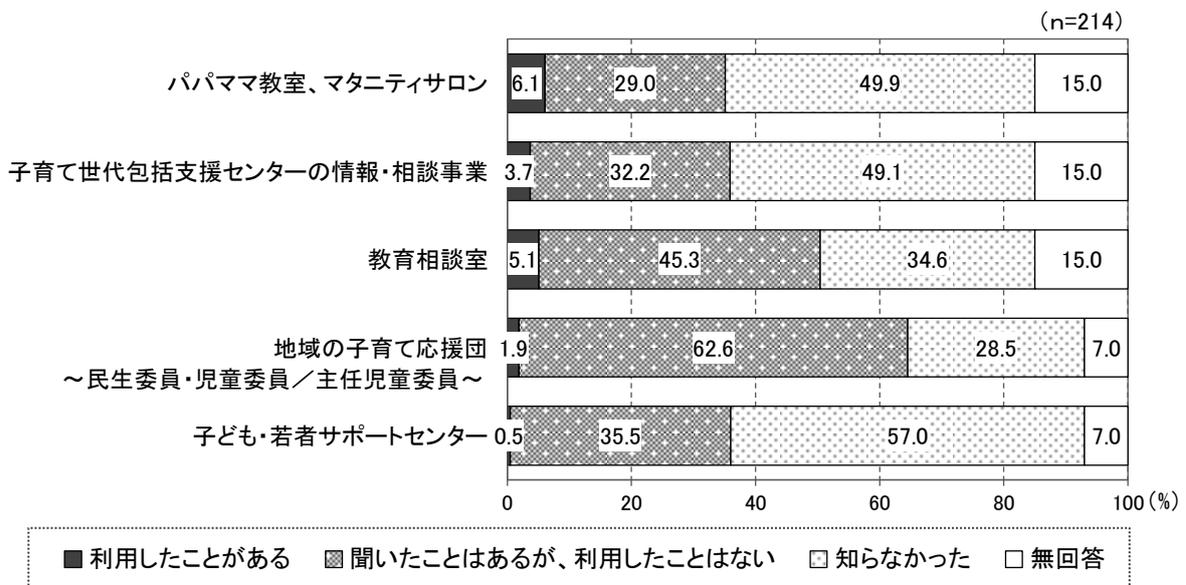
		(n=)	自宅	人・父 ・母 ・知 ・人 ・宅 ・友	習 い 事	児 童 館	ス ア ク フ ー タ ー ス ク ー ル	サ フ ポ ア ー ミ ト リ 事 業	そ の 他
学 年	小学1年生	40	16 40.0%	4 10.0%	10 25.0%	0 0.0%	25 62.5%	0 0.0%	1 2.5%
	小学2年生	33	21 63.6%	5 15.2%	14 42.4%	1 3.0%	13 39.4%	0 0.0%	5 15.2%
	小学3年生	31	23 74.2%	16 51.6%	16 51.6%	0 0.0%	8 25.8%	0 0.0%	3 9.7%
	小学4年生	39	33 84.6%	9 23.1%	14 35.9%	1 2.6%	9 23.1%	1 2.6%	8 20.5%
	小学5年生	27	24 88.9%	5 18.5%	11 40.7%	0 0.0%	3 11.1%	1 3.7%	4 14.8%
	小学6年生	33	31 93.9%	7 21.2%	18 54.5%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%	5 15.2%

(6) 市の事業の利用状況

就学前児童の世帯に市の事業の利用状況を質問したところ、「利用したことがある」では、「地域子育て支援室・園庭開放」が37.9%と最も高く、次いで、「子育て世代包括支援センターの情報・相談事業」(11.0%)、「パパママ教室、マタニティサロン」(7.3%)の順となっています。

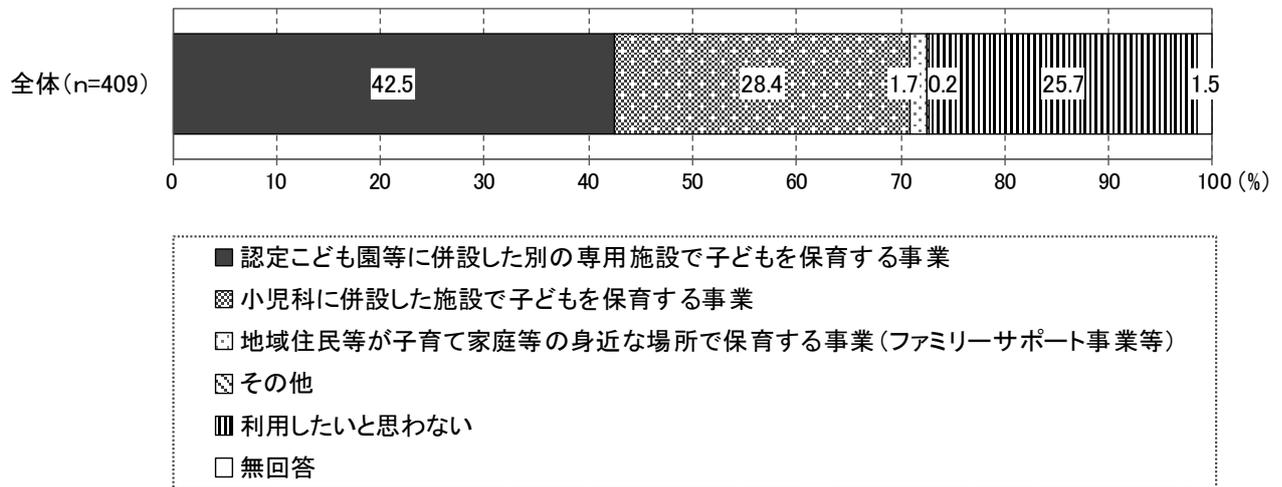


小学生児童の世帯に市の事業の利用状況を質問したところ、「利用したことがある」では、「パパママ教室、マタニティサロン」が6.1%と最も高く、次いで、「教育相談室」(5.1%)、「子育て世代包括支援センターの情報・相談事業」(3.7%)の順となっています。

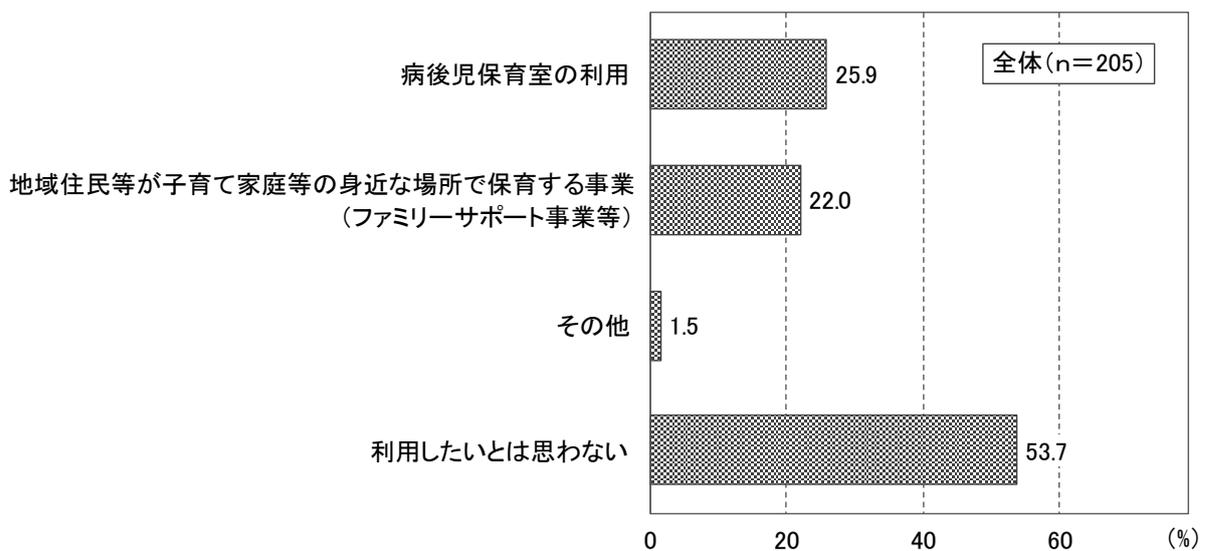


(7) 病気やけがの際の対応

就学前児童の世帯に子どもが病気やけがの際、どのような病児・病後児保育施設等であれば利用したいか質問したところ、「認定こども園等に併設した別の専用施設で子どもを保育する事業」が42.5%と最も高く、次いで、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」（28.4%）、「利用したいと思わない」（25.7%）の順となっています。

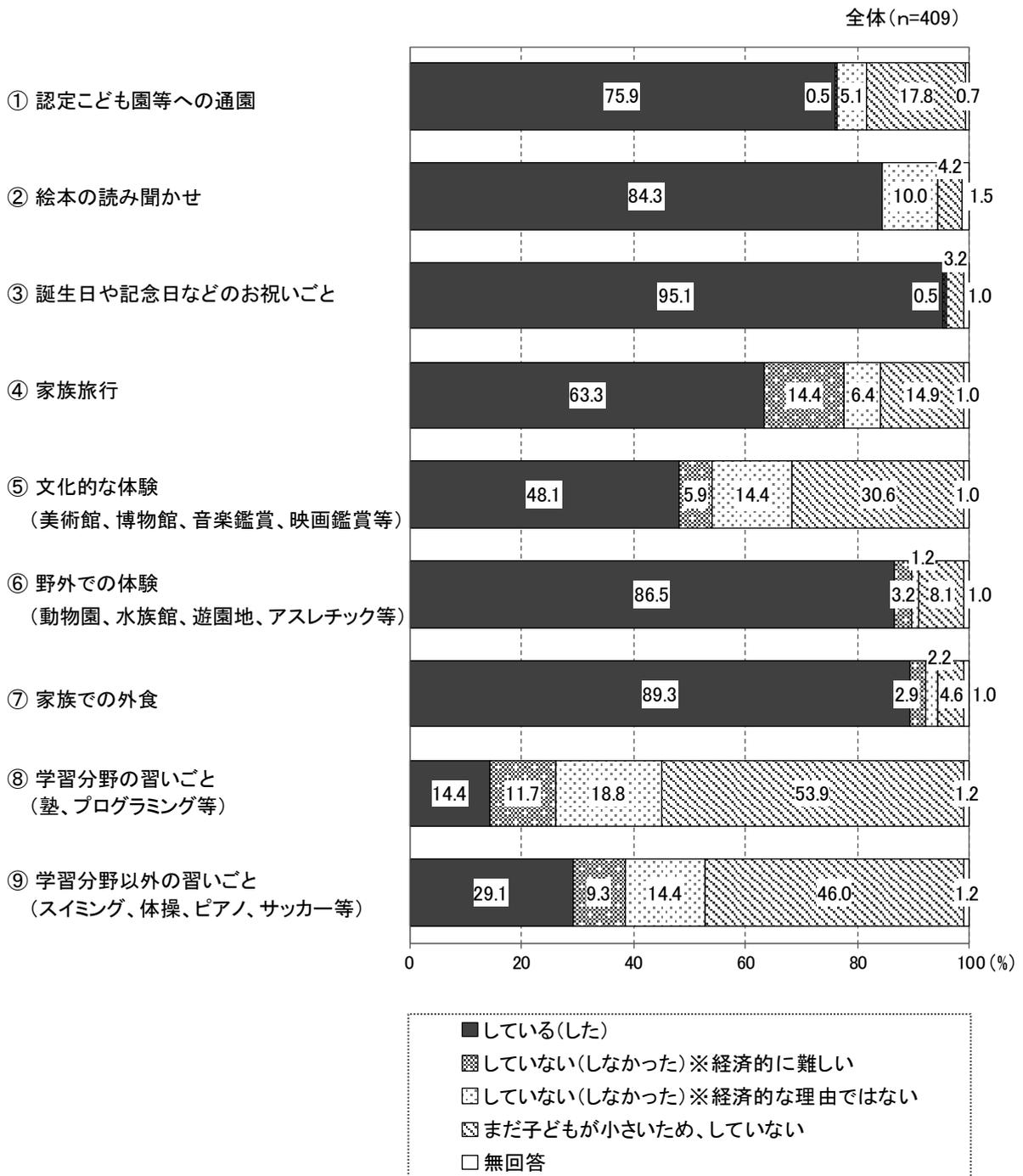


小学生児童の世帯に子どもが病気やけがの際、病後児のための事業で今後（も）利用したい事業は何かを質問したところ、「利用したいと思わない」が53.7%と最も高く、次いで、「病後児保育室の利用」（25.9%）、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（ファミリーサポート事業等）」（22.0%）の順となっています。

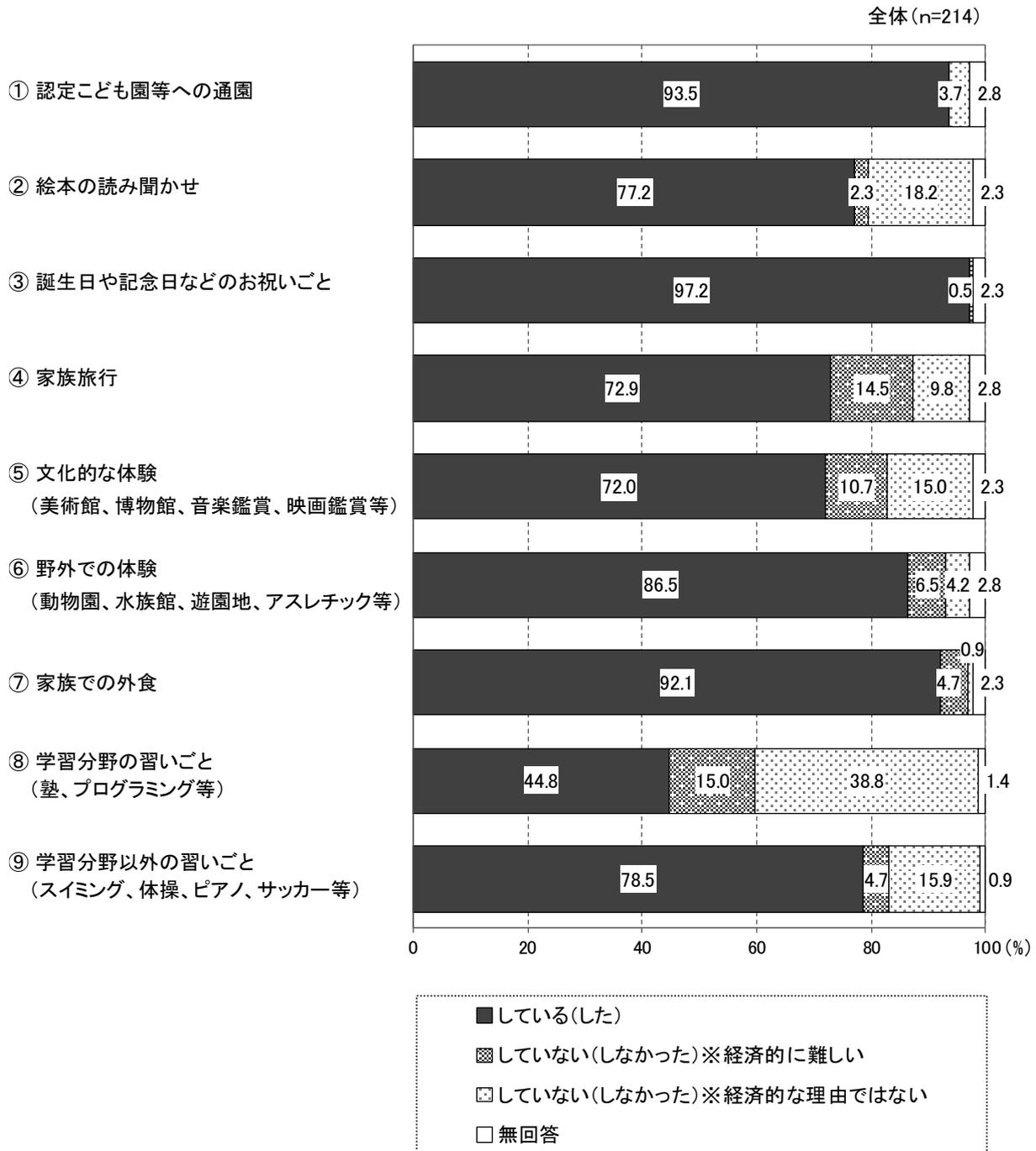


(8) 子どものために家庭でしていること

就学前児童の世帯に子どものためにしていることを質問したところ、「③誕生日や記念日などのお祝いごと」が95.1%と最も高く、次いで、「⑦家族での外食」(89.3%)、「⑥野外での体験」(86.5%)の順となっています。一方、「していない(しなかった)※経済的に難しい」では、「④家族旅行」が14.4%と最も高く、次いで、「⑧学習分野の習いごと」(11.7%)、「⑨学習分野以外の習いごと」(9.3%)の順となっています。



小学生児童の世帯に子どものためにしていることを質問したところ、「③誕生日や記念日などのお祝いごと」が97.2%と最も高く、次いで、「①認定こども園等への通園」(93.5%)、「⑦家族での外食」(92.1%)の順となっています。一方、「していない(しなかった)※経済的に難しい」では、「⑧学習分野の習いごと」が15.0%と最も高く、次いで、「④家族旅行」(14.5%)、「⑤文化的な体験」(10.7%)の順となっています。

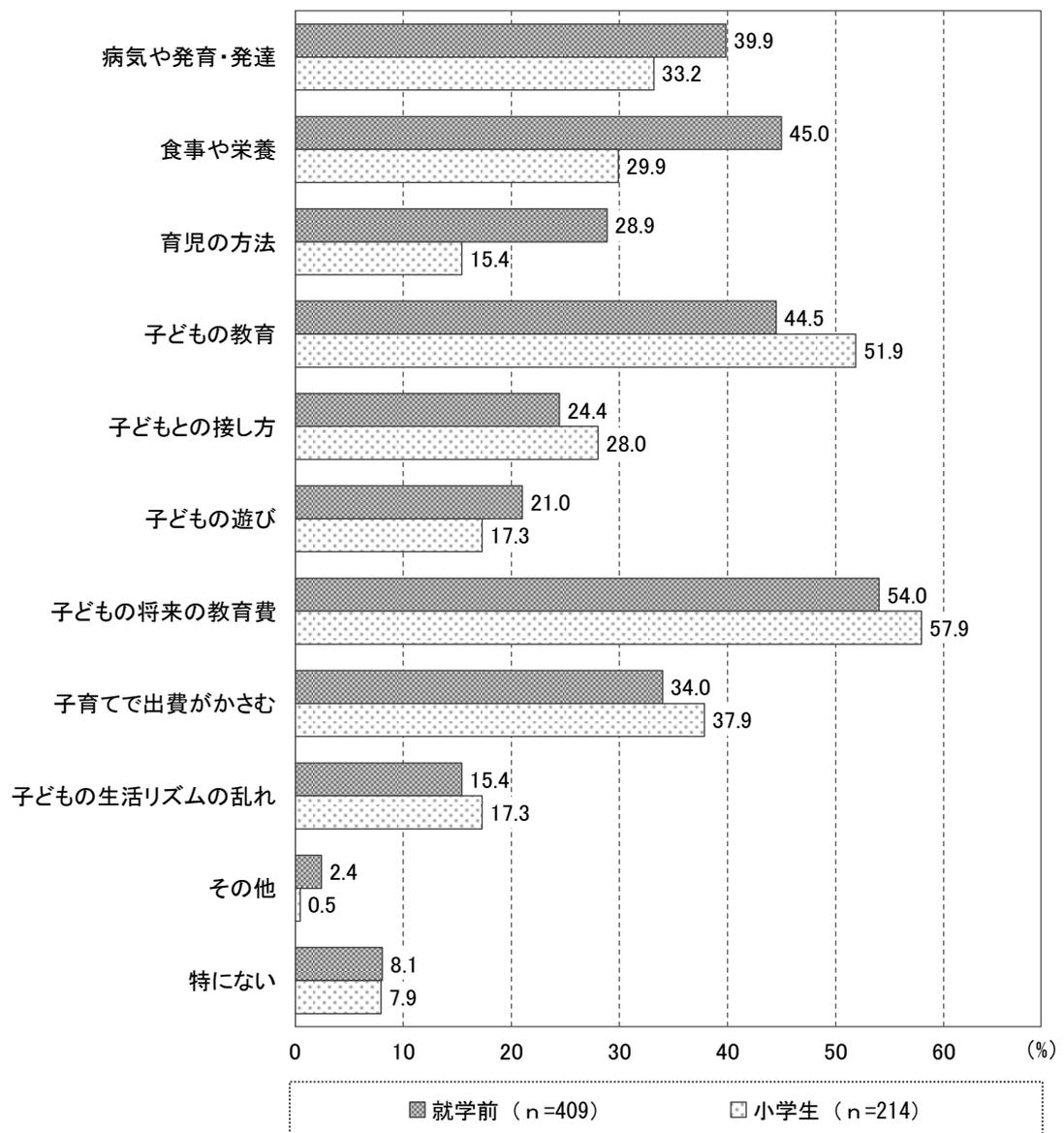


(9) 子育てにおける悩みや不安

子育てにおける悩みや不安のうち子どものことについて見ると、就学前児童の世帯では、「子どもの将来の教育費」が54.0%と最も高く、次いで、「食事や栄養」(45.0%)、「子どもの教育」(44.5%)の順となっています。

また、小学生児童の世帯では、「子どもの将来の教育費」が57.9%と最も高く、次いで、「子どもの教育」(51.9%)、「子育てで出費がかさむ」(37.9%)の順となっています。

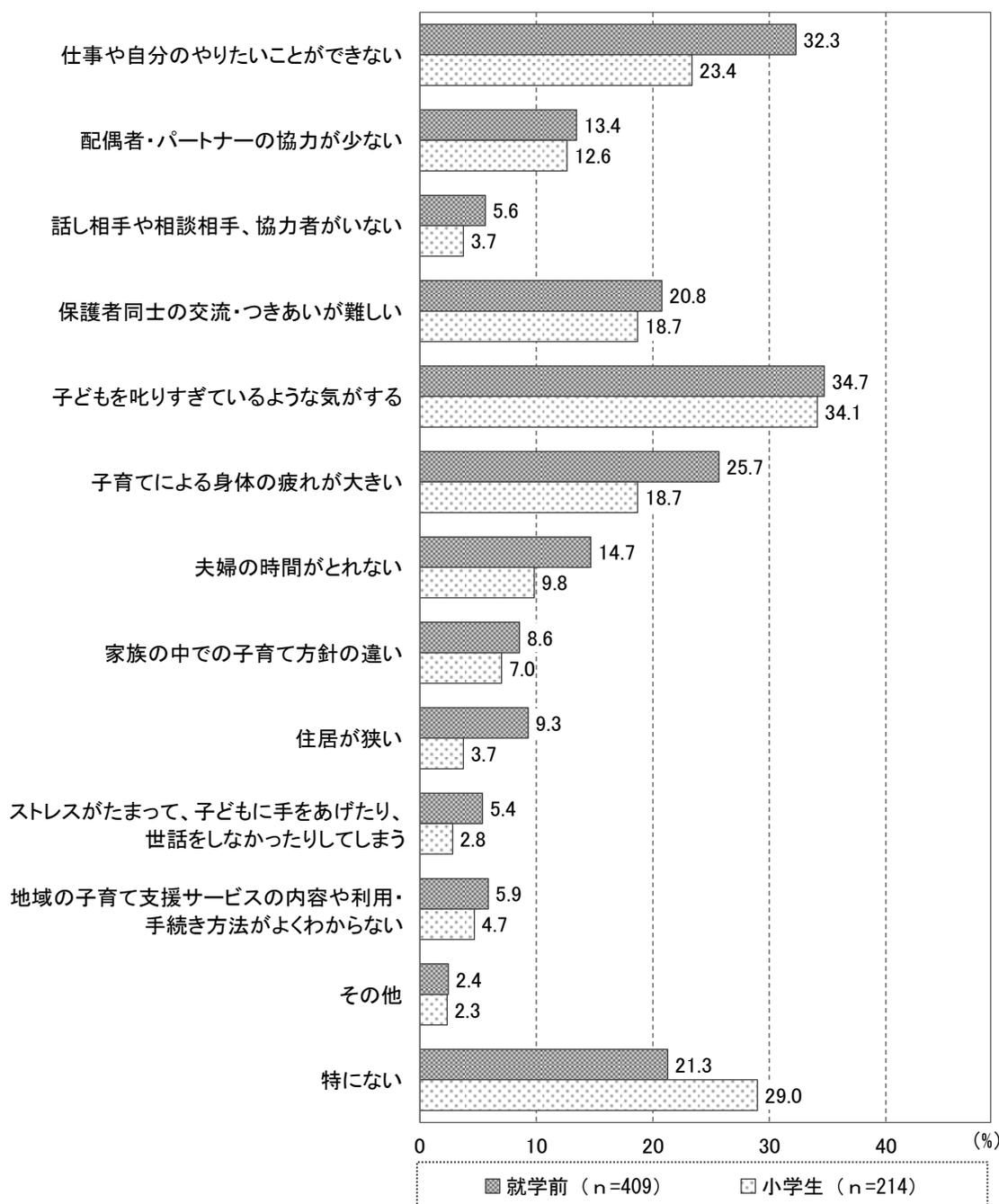
【子どもに対する悩みや不安】



子育てにおける悩みや不安のうち保護者のことについて見ると、就学前児童の世帯では、「子どもを叱りすぎているような気がする」が34.7%と最も高く、次いで、「仕事や自分のやりたいことができない」(32.3%)、「子育てによる身体の疲れが大きい」(25.7%)の順となっています。

また、小学生児童の世帯では、「子どもを叱りすぎているような気がする」が34.1%と最も高く、次いで、「仕事や自分のやりたいことができない」(23.4%)、「保護者同士の交流・つきあいが難しい」・「子育てによる身体の疲れが大きい」(18.7%で同率)の順となっています。

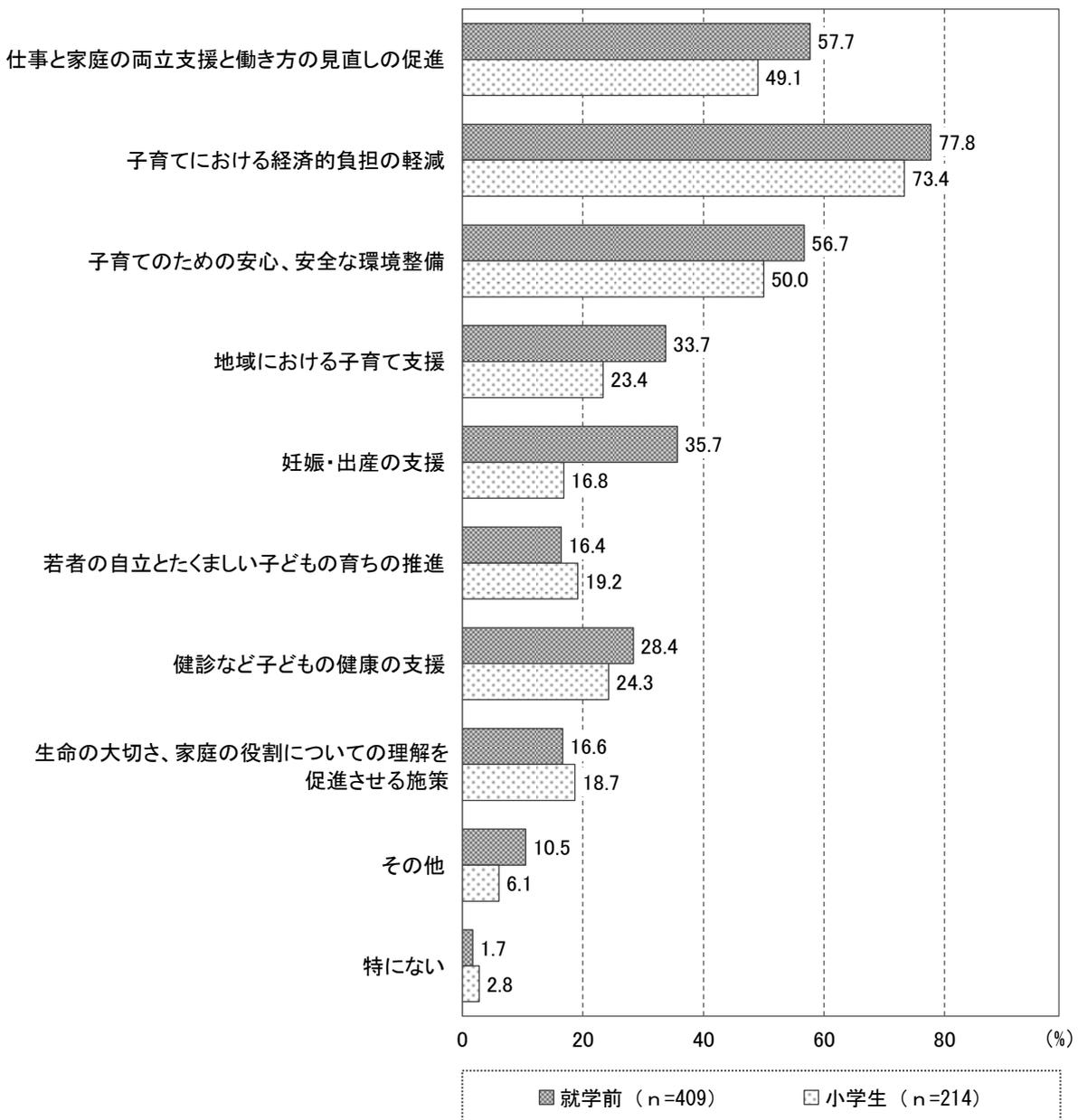
【保護者自身の悩みや不安】



(10) 市において充実してほしい子育て支援

就学前児童の世帯では、「子育てにおける経済的負担の軽減」が77.8%と最も高く、次いで、「仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進」(57.7%)、「子育てのための安心、安全な環境整備」(56.7%)の順となっています。

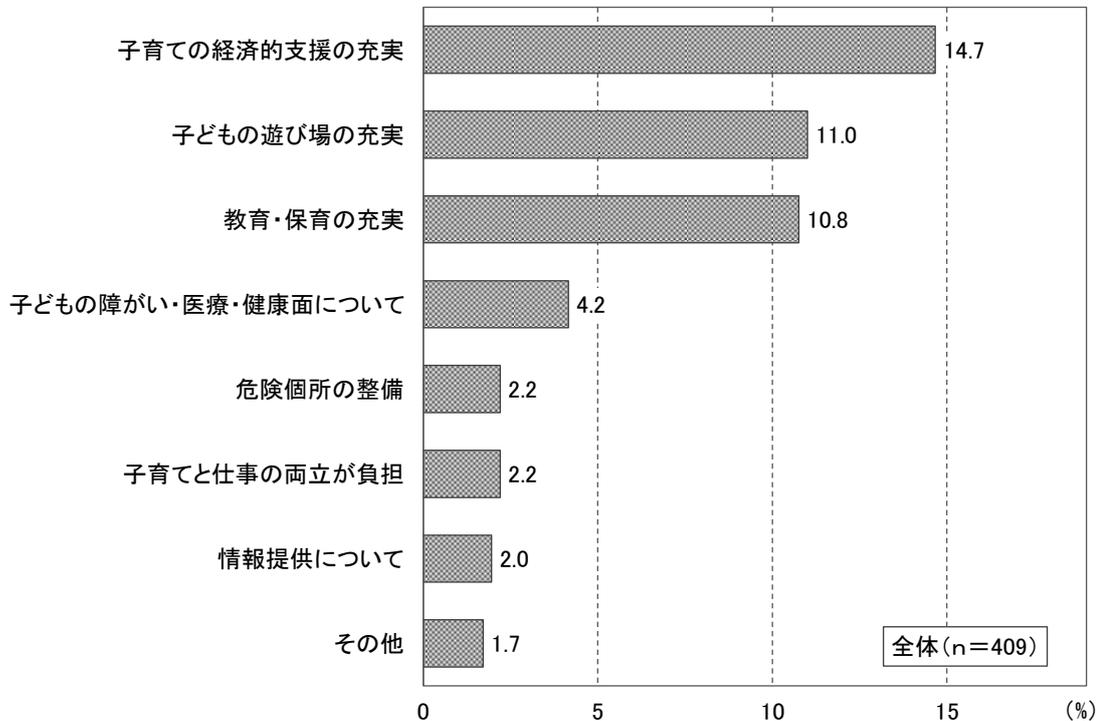
また、小学生児童の世帯では、「子育てにおける経済的負担の軽減」が73.4%と最も高く、次いで、「子育てのための安心、安全な環境整備」(50.0%)、「仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進」(49.1%)の順となっています。



(11) 市の子育て環境及び取組・施策全般への意見（自由記述）

就学前児童の世帯では、「子育ての経済的支援の充実」が14.7%と最も高く、次いで、「子どもの遊び場の充実」（11.0%）、「教育・保育の充実」（10.8%）の順となっています。

【就学前児童の世帯からの意見】



※寄せられた意見をカテゴリーに分けてグラフ化しています。

◆自由記述のピックアップ（就学前児童の世帯）◆

子育ての経済的支援の充実

- ・医療費が無料になり、大きな手術も経済的な負担を感じず安心して受けられ、本当に助かった。今後も収入に関わらず、すべての子どもが安心して医療を受けられることを切に願う。
- ・年の差兄弟でも第3子までの保育料を減免（免除）してほしい。
- ・インフルエンザワクチン接種の補助を増やしてほしい。
- ・現金給付より、給食無償化など子どもに直接反映される支援をしてほしい。
- ・男性の育休に対するサポートをしてほしい。

子どもの遊び場の充実

- ・子どもを遊ばせる公園が少ない。
- ・室内、室外の遊び場が増えてほしい。
- ・広場はあるが、遊具があまり充実していない。
- ・未就園児でも文化的な体験をできるような行事の充実。

- ・悪天候の日に運動できる場所がない。無料で時間を気にせず利用できるスペースがほしい。

教育・保育の充実

- ・病児保育が不十分。
- ・保育士の人数が少ない。
- ・認定こども園を利用しているが、バス登園ではないにもかかわらず毎月バス運営維持費を負担させられている。
- ・子どもが小学生になった時、土曜出勤での預かり先に不安がある。環境を整えてほしい。
- ・母子家庭なので、24時間預けられる園を設けてほしい。
- ・親が働いていない子どもも認定こども園に通えるようになればいいと思う。

子どもの障がい・医療・健康面について

- ・障がいを持っている子どもが増えているのに対して、放課後デイの数が圧倒的に足りない。以前から放課後デイに通っている子どもが優先で、療育を受けたくても出遅れるとすき間にさえ入れない環境にある。
- ・小児科専門の病院がないので、待ち時間が長く大変である。予防接種も日時が指定されており、子どもを連れて時間を守ることが難しい。
- ・丹波医療センターで初診から乳幼児医療証が利用できるようにしてほしい。

危険個所の整備

- ・子どもが利用する道で危険個所が多い。交通量が多いが歩道のない通りを通学しなければならないので不安だ。
- ・歩道の充実、ガードレール設置、子どもだけでも安全に通行できるよう整備してほしい。
- ・柏原町柏原は、崇広小学校の校区だと言われたが、2.6 kmもあり道もかなり危ない。

子育てと仕事の両立が負担

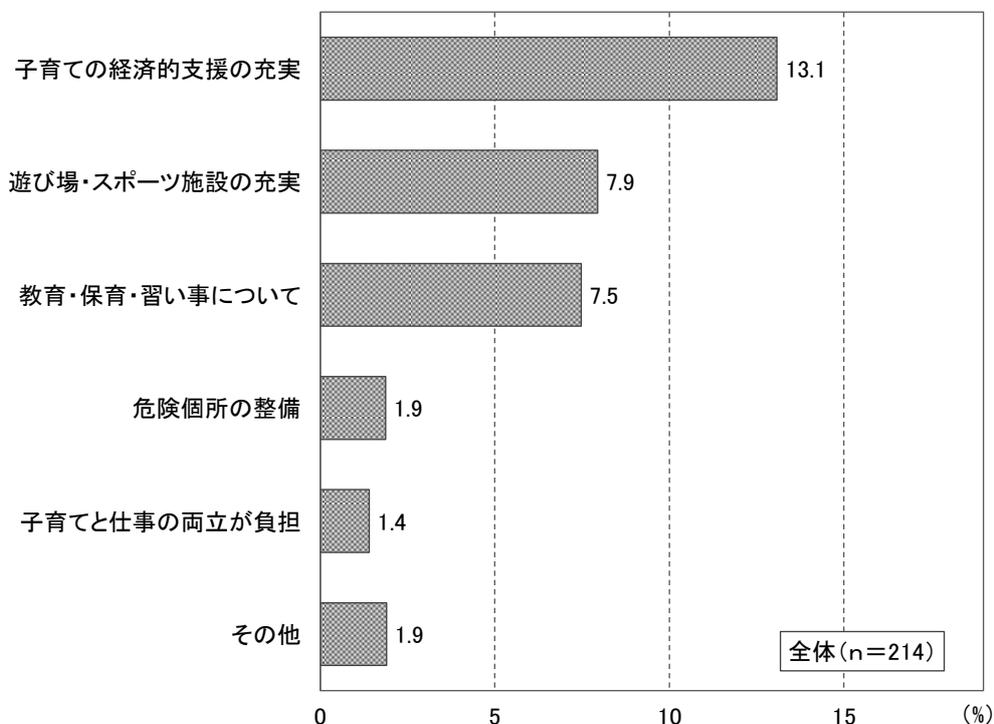
- ・時短勤務でも子どもと過ごす時間が減るので、母に対する収入が増えると嬉しい。
- ・こども園の制約・園側からのルールが多く、仕事を制限しなければならなくて困る。

情報提供について

- ・チャレンジ教室に運動系も取り入れてほしい。小学生以下でも年間を通して受講できる工作・プログラミングのチャレンジ教室を利用したい。そして、広報などで広く案内してほしい。
- ・子育て学習センターを利用しており、親同士の交流・情報収集ができ安心できた。

小学生児童の世帯では、「子育ての経済的支援の充実」が13.1%と最も高く、次いで、「遊び場・スポーツ施設の充実」(7.9%)、「教育・保育・習い事について」(7.5%)の順となっています。

【小学生児童の世帯からの意見】



※寄せられた意見をカテゴリーに分けてグラフ化しています。

◆自由記述のピックアップ (小学生児童の世帯)◆

子育ての経済的支援の充実

- ・高校無償化を進めてほしい。
- ・インフルエンザの予防接種費用の助成をしてほしい。子どもは2回接種で費用がかかる。
- ・医療費が高校まで無償化されたことはとてもありがたい。
- ・物価高騰もあり学年が上がるごとに教育費、給食費、生活費がかかり出費がかさむ。学校で使用する教材や給食費などは市が助成してくれてもいいのではないか。
- ・所得が多いと支援を受けられない事がある。所得が多くても子育ては同じ様にしているので平等にしてほしい。

遊び場・スポーツ施設の充実

- ・近くに子どもが遊べる公園がない。
- ・子どもがのびのびと遊べる公園が各地区にあってほしい。
- ・安心安全に子どもが遊べる公園・施設がほしい。

- ・図書館内でもっと自由に読書できるスペースがほしい。自主学習スペースや本に親しむ環境を整えてほしい。
- ・有料でも良い（ただし丹波市民は格安で利用可能）ので、たくさんの遊具があり、整備されている公園や屋内施設がほしい。

教育・保育・習い事について

- ・習い事への支援があればと思う。
- ・児童発達支援事業所と学校の連携を密にしてほしい。福祉について学校の先生方に深く知ってもらい、学校内だけで解決せず広い視野を持ってほしい。
- ・当日利用できる病児保育施設がほしい。
- ・スポーツをさせているが、公立中学だと部活動がなく私立へ進学させるか悩んでいる。
- ・子育て施設、習い事の狭い中での選択、運動するにしても丹波市には体育館やグラウンド、公園なども足りていない。

危険個所の整備

- ・水路には囲いもなく危険を感じる。
- ・丹波の森公苑の整備・点検が必要だ。

子育てと仕事の両立が負担

- ・子どもとの時間が作れるように、共働き夫婦にとって子育てしやすい環境が図れるように改善案をお願いしたい。
- ・非課税世帯だけがもらえる給付金が多すぎる。真面目に働いてるのが損のように思う。色々なことを犠牲にして働いている。
- ・アフタースクールで、働く親がお弁当を作らなくてよい仕組みを考えてほしい。